

第50回記念家庭科教育研究者連盟夏季研究集会

子どもの発達を保障する家庭科を

いのちと暮らしを守る家教連50年の
実践を発展させひろげよう

会期 2015年8月1日(土)～2日(日)

会場 神奈川学園中学・高等学校

横浜市神奈川区沢渡18(横浜駅西口より徒歩10分)

日程

	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
1日 (土)		受付 9:30～	実技交流 10:00 ～11:30		開会行事 12:00～13:10 記念講演 13:15～14:45			テーマ別分科会 15:00～16:30 家教連総会 16:45～17:30			50周年記念祝賀会 夕食交流会 (横浜国際ホテル) 18:00～20:00		
2日 (日)		受付 8:30 ～		学校種別分科会 (特別支援教育・小学校・中学校・高校) 9:00～15:45 (途中、昼食休憩あり)				閉会行事 16:00～16:30					

開会中、交流の広場・50周年記念展示を常設しています。

第1日目 8月1日(土) 受付 9:30～

【開会行事】 12:00～13:10

オープニング(中学校特別支援学級卒業生)

第50回記念集会にあたって

【記念講演】 13:15～14:45



寛容さを失う社会 —子どもの権利をどう保障するか—

講師 増山 均さん(早稲田大学)

戦後70年、平和と民主主義が揺らぎ、非正規雇用と長時間労働が拡大し、子どもの貧困の深刻さが増しています。道徳教育の「教科化」、学校内外へのゼロトレランスの拡大、子どもの放課後生活の縮小など、安倍政権の教育改革のもとで、子どもが自由で伸びやかに成長する権利が崩されようとしています。

寛容さを失う社会状況の中で、子どもを信頼し、子どもの豊かな育ちを保障するには何が必要か、子どもの権利条約の視点に立って、その展望を探ります。

<後援> 神奈川県教育委員会 横浜市教育委員会 東京新聞横浜支局 神奈川新聞横浜支局
tvk テレビ神奈川

主催 NPO 法人家庭科教育研究者連盟

〔実技交流〕

8月1日(土) 10:00~11:30

すぐに授業に使える実技です。気軽にご参加ください。

○こぎん刺し ○さをり織り ○お手玉作り ○さき編み ○手作りおもちゃ(牛乳パックでパクパク人形)
○リバーシブルアームバンド (材料は実費を頂きます)

〔テーマ別分科会〕

8月1日(土) 15:00~16:30

① 再生可能エネルギーへの転換 歌川学さん(総合科学技術研究所)

原発事故から4年が経過しましたが、いまだに復興が進まない中、再稼働が進められようとしています。一方、地球温暖化による影響は地球全体に深刻な被害をもたらしています。原発にも化石燃料にも頼らない、新しい再生可能エネルギーへの道をどのように開くのか、専門家による最新の情報を知ることができます。あわせて、家庭科の授業に生かせる省エネグッズのソーラークッカーやほおんわかぼうしの紹介もあります。

② 子どもにとって教科書とは 石山久男さん(歴史教育者協議会元委員長)

そもそも、教科書って、なあに? どうやってつくるの? どんな人が書くの? 何種類あるの? いくらするの?

教科書が手元に届くまでどうなっているの? 教科書検定って誰が調べるの? 採択手順はどうなっているの? などの疑問や「道徳」「公共」と家庭科との関連等考えませんか。中学校教科書採択の今年、子どもたちに学ばせたい教科書について話しあいましょう。

③ 神奈川県基地と平和をめぐる 笠木隆さん(原水爆禁止神奈川県協議会事務局長)

現在、神奈川県には14の米軍基地があり、基地あるが故の困難と苦しみを押しつけられ、くらしと命が脅かされています。原子炉事故による放射能被害の不安が広がる原子力空母の母港の米海軍横須賀基地、爆音被害に苦しめられている厚木海軍飛行場、キャンプ座間、相模総合補給廠などの基地によって、何が起きているのか、子どもたちの生活・学習環境にどのような影響を及ぼしているのか、ごいっしょに考えてみましょう。

④ 健康でエコな石鹸生活ー化学物質と石鹸と環境を考えるー

長谷川 治さん(太陽油脂株式会社 特別顧問)

生活に欠かせない洗剤ですが、有害化学物質に指定されていることを知っていますか? CMに惑わされてたくさんの合成洗剤を使用していませんか?

人体にも環境にも安全・安心な石鹸と、有害性の高い合成洗剤のちがいを、化学的に明らかにします。詳しくわかりやすく、実験なども入れてお話しします。あなたの生活も授業もかわります。

⑤ 家庭科で何をどう教えるか 知識明子さん(家教連理事長)

家教連では、まず、子どもの生活を丸ごととらえて子どもの生活を知ることからはじめようと、50年にわたって研究を積み重ねてきました。でも、子どもの生活を知るためにはどうすればいいの? そこから何をつかむの? など、疑問もたくさんあることでしょう。朝ご飯作りの実践をもとに、参加者のみなさんといっしょに議論していきましょう。

家教連総会 8月1日(土)16:45~17:30(神奈川学園中学・高等学校)

会員の皆さん、年に1回の総会です。今年は50周年、これからの家教連の活動について話しあいましょう。会員でない方も参加できます。

50周年祝賀会・夕食交流会 8月1日(土)18:00~20:00

(横浜国際ホテル宴会場)

家教連50年をお祝いするとともに、これからさらに発展させていこうと、全国各地から集まったみなさんで交流しましょう。おいしいごちそうを食べながら…(着席スタイルです)



第2日目 8月2日(日) 受付 8:30～

〔学校種別分科会〕 8月2日(日) 9:00～15:45 (途中, 昼食休憩あり)

	内 容
特別支援教育	軽度知的障害や発達障害の子どもが増える一方、障害の重度・重複化もあり、子どもたちの状況は多様化しています。特別支援教育を取り巻く状況について各地の実態を出し合い、子どもたちの人権や命の尊厳を守り発達を保障するために何が必要かを検討していきます。実践では、「家族やいのちのつながりを考える—自分らしく生きる」と「おとなになる—を考える」他、子どもたちが自分を見つめ、自信をつけていく授業実践を予定しています。また、一般学級に在籍する特別な支援を要する児童生徒への支援にも話題を広げ、検討したいと思います。
小学校	実践レポートをもとに、次のような討論の柱を立てて話しあいます。 ①子どもと家庭・地域・学校の状況を出しあいます。 ②主権者としての生活者を育てることをめざし、子どもが主体となる家庭科の授業に向け、子ども主体の授業の考え方や進め方、工夫と改善の方法について、実践をもとに検討します。 ③学級・学年の集団づくりと家庭科教育・他教科、他領域との連携について交流し、家庭科教育の魅力と可能性を確かめあいましょ。
中学校	<午前> 教育改革が進められている学校現場や家庭科をめぐる状況はどうなっているのでしょうか。各地の状況を出しあいます。子どもたちの実態が生活とどんどん離れてきてしまっている中、3年間で家庭科の授業時数が87,5時間しかない中で、いのちと暮らしを守り子どもの発達を保障する家庭科の授業をどうつくるのか,実践例をもとに学びあいましょ。 <午後> 2本のレポートの報告を受け、生徒主体の授業づくりをどう進めるか、評価はどうするのかなどを検討します。生活指導や部活、進路指導でお疲れの人、参加するだけで元気になりますよ。
高校	<午前> 全体会でエネルギー問題や食の安全など、3.11 後に取り組みされた授業をはじめ、生徒が主体となる授業や、「いのちと暮らしを守る家庭科」という原点を見据えて取り組んだ授業実践について4人の方に発表していただきます。 <午後> 午前中の発表を受けて、4つの分科会に分かれて、午前中のレポートをよりくわしく、ていねいに聞き、意見交流を行ないます。 全国的に厳しい家庭科の教育条件の中で、各地の生徒の様子や学校の状況を交流し、あらためて家庭科教育の魅力と可能性を探っていきましょう。

〔閉会行事〕 16:00～16:30 感想発表、次期開催地あいさつなど

〔交流の広場〕 (開会中、常時展示しています)

授業に使用した資料、参考図書、学習ノート、生徒の作品、視聴覚教材などを持ち寄り展示します。展示していただける方は、ご連絡の上、直接会場にお持ちください。

授業実践の交流ができます。(連絡先: TEL/FAX 042-749-3216 家教連)

*家庭科関係の書籍販売コーナーもあります。

